

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【鹿児島県】

学校名【屋久島町立一湊小学校】

1 実践テーマ	①・②・③・④・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	1～6年生（30人） 保護者 4人 教諭 10人
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間・体育・他教科） ② 行事名（ ） ③ その他（あすチャレ！スクール） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピックやパラリンピックについて知り、スポーツや運動の楽しさを知ると共に、お互いの良さを認め合い、助け合いながら生活していこうとする気持ちを育てる。
5 取組内容	<p>【事前学習】 東京オリンピック・パラリンピックの開催やその内容についての指導を各学年の実態に応じて行った。</p> <p>【取組】 10/27（水）2・3校時に「あすチャレ！スクール車いすバスケットボール体験」を本校体育館で実施した。講師の根木慎志さんよりお話を頂いたり、車いすバスケットボールの体験をしたりした。</p>  <p>【事後学習】 パラスポーツ体験学習後の取組として、「人権感覚を養おう」というテーマをもとに、以下の活動に取り組んだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 朝の挨拶では、名前を呼んで挨拶をすること。 ② 相手の名前を呼ぶときは、「さん」づけで呼ぶこと。 ③ 教科学習においては、だれ一人取り残さないことを目標に、複式学級の良さを生かした「学び合い」「教え合い」の積極的な活用。 ④ 中学年での総合的な学習の時間において、地域の高齢者の方々とグラウンドゴルフを通しての触れ合い。 ⑤ 高学年での総合的な学習の時間において「社会福祉」をテーマにし、「調べ学習」や「社会福祉ジュニア活動での体験学習」「未来の福祉・介護の担い手スタートアップ事業」への参加。

⑥ これらの体験をさらに発展させようと高学年体育科の授業で、「誰もがボールに触れて楽しい時間を費やすために」と今年度のネット型ゲームの授業でテニピンも取り入れてきた。



「オリンピック・パラリンピック」について知るために、調べ活動を行い、以下の内容について調べた。

- ① オリンピックやパラリンピックのねらいや目標
- ② オリンピックやパラリンピックの歴史
- ③ オリンピックやパラリンピックの種目
- ④ その他（五輪マークの意味や聖火についてなど）



調べ活動で分かったオリンピックやパラリンピックについての内容をまとめ、オンラインを利用して他校の児童へと発信する予定である。（令和4年2月3日）

体育の学習では、個々の目標をもって体を動かすことの楽しさや、継続して取り組むことの大切さ、学び合うことの大切さを実感できるように指導している。

6 主な成果

- 体験的な学びを通すことで、オリンピックやパラリンピックの競技について、楽しく理解することができた。
- パラリンピック選手の講話を聞くことで、パラリンピックのことだけでなく、楽しむことや努力すること、周囲と励まし、助け合うことなどの意義を感じることができた。
- 保護者も参観・体験（一部）することによって、取組についての理解を深めることができた。
- オリンピック・パラリンピックについて話したり、調べたり、体験したりすることによって、選手の妻さを感じたり、興味をもてたりすることができた。
- 子ども・職員がお互いの良さが分かり、さらに絆を深め、「人権感覚」を高めることができた。
- パラリンピック選手と触れ合うことで、バラスポーツの精神や楽しさを理解することができた。
- オリンピックやパラリンピックについて調べることで、その目的や意義を理解したり、様々な種目があることを知ったりすることができた。

7 実践において工夫した点

- 本校の校内研修テーマである「人権感覚を養う」と関連づけ、他者への理解や多様性などにも配慮した学習活動を計画・実践した。

8 主な課題等

- 一部の学級や学年の取組にならないように、学校全体で取組についての意図や内容を共通理解し、計画的に実践していく必要がある。
- 知識だけでなく、オリンピック競技やパラリンピック競技を体験することで、実感し、より深く理解できるので、そのような機会や利用できる道具を増やしてほしい。

9 来年度以降の実施予定

- 校内研修として、「人権感覚を養う」をテーマにして、他者への理解や多様性等を学ぶ教育活動を次年度も進めていく。
- 「ポッチャ」の道具を購入予定。体験的に学ぶ機会を設ける。
- スポーツや運動を通して、体を動かすことの楽しさや、協働的に学ぶことの意義、お互いに助け合い、学び合うことの良さを伝えていく。